

2021年10月29日

## 法医解剖事例における前頭縫合の出現率に関する基礎的研究

前頭骨（頭蓋骨のおでこの部分）のまん中に見られる縫合（骨の継ぎ目）を前頭縫合といいます。通常、2歳位までは残存するといわれますが、その後は癒合して縫合が消失するといわれています。しかし、人によっては成人後もこの縫合が残ることがあり、法医解剖事例でもしばしば確認されます。そこで本研究では、法医解剖事例において、前頭縫合の出現率を検証したいと考えています。この研究は、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづき香川大学医学部長の許可を得て行っています。

### 1. この研究の対象となる方：

香川大学医学部にて2009年1月1日から2021年9月30日までの期間に法医解剖を実施した方のうち、10歳以上の方で、前頭縫合が確認できた方の年齢・性別などの資料を対象としています。

### 2. 対象になった方の不利益と危険性：

研究に用いる資料データは個人名が特定できないようにした上で、厳重に管理しますので、研究の対象になることで、特に不利益が生じることはありません。また、既存の資料からデータを収集しますので、危険性はありません。

3. 検討成果は、今後の鑑定・検査の精度向上に寄与することで、社会に還元・貢献していくことができます。ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

4. この研究について、ご遺族様から研究への参加を希望されないお申し出がございましたら、適切に対応します。ただ、研究に利用する研究対象者の個人情報に関しては、お名前など、研究対象者個人を特定できる情報は削除して管理いたします（これを「匿名化」といいます。）。そのため、研究の進捗状況によっては「匿名化」を行った後では、どなたの情報なのかを識別する方法がありません。その際には、お申し出に対応することが困難な場合もありますので、ご了承下さい。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者と特定できる個人情報等は利用いたしません。

5. 本研究に関する連絡・お問い合わせ：

研究責任者 木下博之

香川大学医学部 人間社会環境医学講座 法医学

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

TEL: 087-898-5111 内線 2542

FAX: 087-891-2141